

Hitachi Living Systems

取扱説明書

電源分離可能型

家庭用 CS・BS・U・V ブースタ

CS・BS・U・V増幅

HDB-SW35 (電源部 HPSD60SPA 内蔵)

保証書付
(裏表紙の下側が保証書になっています。)

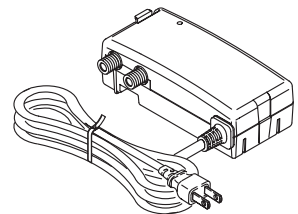
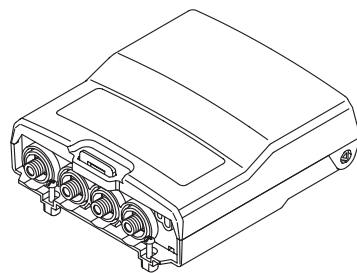
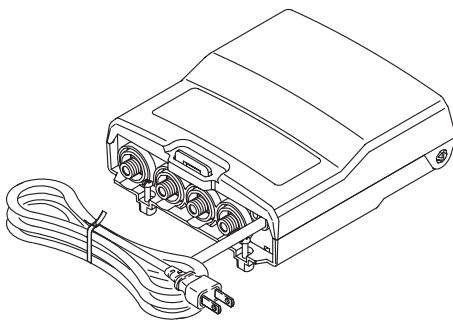
このたびは、お買い上げいただき、ありがとうございました。

正しく安全にお使いいただくために、ご使用前に必ずこの「取扱説明書」と別紙の「安全上のご注意」をよくお読みください。お読みになった後は、いつでも取り出せるところに大切に保管してください。

◆外観

● 電源内蔵時 (屋外・屋内共用)

● 電源分離時



・ブースタ本体 (屋外・屋内共用) ・電源部: HPSD60SPA (屋内専用)

付属品

- ケーブル防水キャップ (4ヶ)
- F形接栓: F P-5 (6ヶ)
- 木ネジ: 長さ20mm (1ヶ)、長さ13mm (2ヶ)

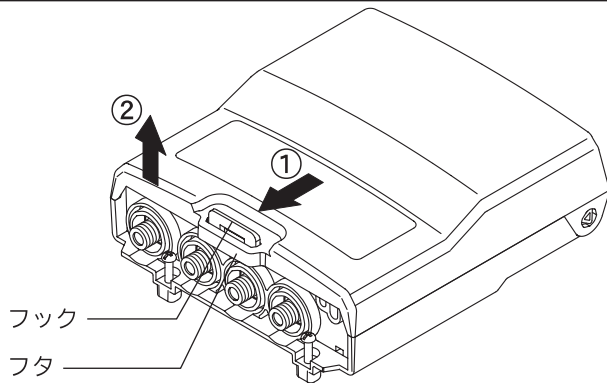
◆特長

- 地上・BS・110度CS デジタル放送対応
地上デジタル放送、BSデジタル放送・110度CSデジタル放送の両偏波受信システムに対応する低雑音・高出力なCS2610MHz広帯域ブースタです。
- 高シールド性能
ブースタ本体、電源部とも高周波部分を金属ケースでシールドし、ケーブル接続部にF形接栓を使用しており外来ノイズによる影響を防ぎ良質な画像を維持できます。
- 電源内蔵/分離可能型
本器は電源を内蔵したまま使用できるほか、電源部を取り出して離れた場所から本体に重畳送電して使用することができます。この場合、工具を使わないで簡単に電源部を取り出すことができます。またブースタ本体は屋外・屋内共用です。(電源部はブースタ本体から分離した状態では屋内専用となります。)
- 携帯電話帯域のフィルター強化
携帯電話帯域のフィルターを強化しており、携帯電話等の妨害電波によるテレビ信号への影響を軽減します。
- トラッキング対策電源プラグ
電源プラグは耐トラッキング対策品を使用しております。

◆使用上のご注意

- ブースタの設置工事には技術と経験が必要です。販売店や工事店にご相談ください。
- 本器は付属の電源部: HPSD60SPA以外は使用できません。またHPSD60SPAは本器専用です。他のブースタ電源部として使用することはできません。
- ブースタ本体とCS・BSアンテナ間の同軸ケーブル、および電源部を分離して使用する場合のブースタ本体と電源部を接続する同軸ケーブルには電流が流れます。
 - ・同軸ケーブルは、無理に曲げたりキズをつけたりしないでください。
 - ・分配器や壁面端子など、CS・BSアンテナとブースタ間やブースタ本体と電源部間に接続する機器は必ず電流通過形のものを使用してください。
 - ・同軸ケーブルまたは同軸ケーブルとの接続部がショートすると、過電流保護回路が働き、電流が遮断されブースタ本体と電源部のパイロットランプが消えます。この場合、電源プラグをコンセントから抜き取り、配線・接続のチェックをして原因を取り除いて下さい。電源プラグを接続すると回路は自動復帰します。
- 電源部は屋内専用です。ブースタ本体から分離して使用する場合は屋外や水のかかる場所に設置しないでください。

◆本体フタの開けかた



- ① フックを矢印の方向に押して、ロックを解除します。
- ② この状態で、フタを矢印の方向に開けて下さい。
● フタはいっぱいまで開くと開放状態を保持します。

警告

- 本体のフタは作業後、確実に閉めて下さい。雨水などの侵入により、火災・感電の原因となります。

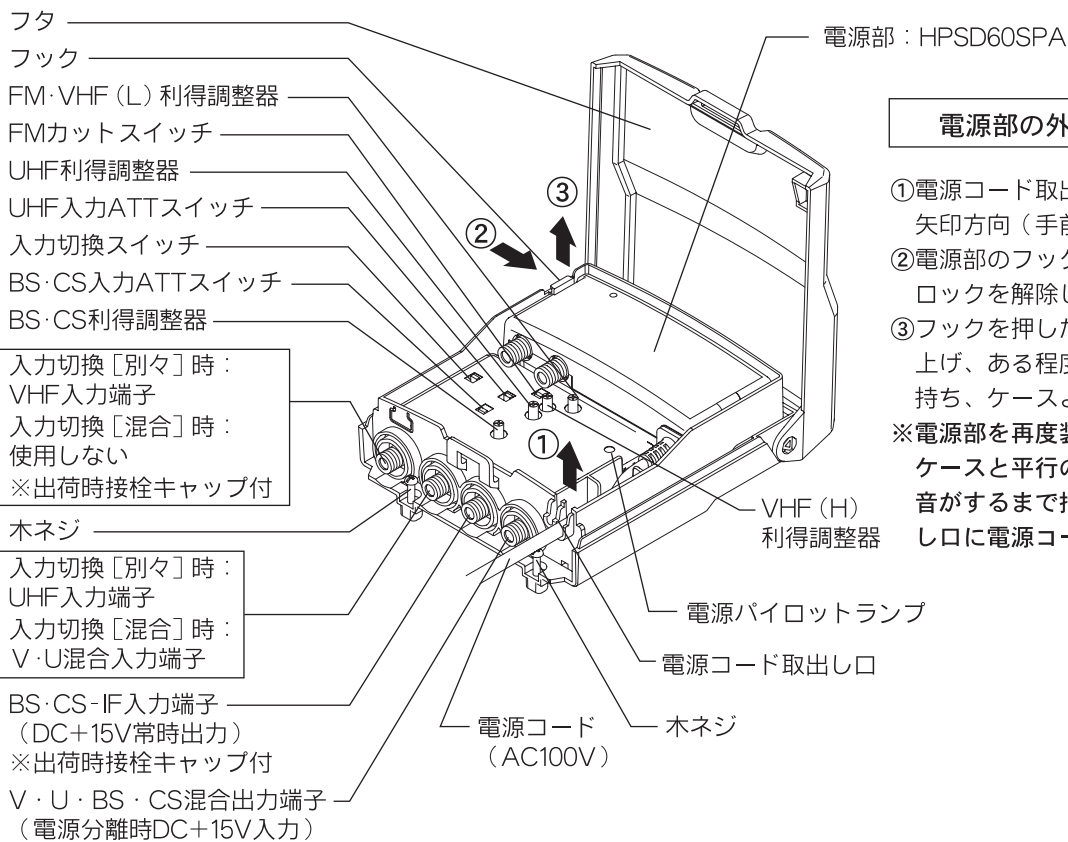


注意

- フタの開閉時や電源部の着脱時、無理な力を加えないでください。ケースが破損して、火災・感電・機器の故障の原因となります。
- お手入れのさい、ベンジン・シンナーなどの溶剤は使わないでください。プラスチックケースが変質し、故障の原因となります。



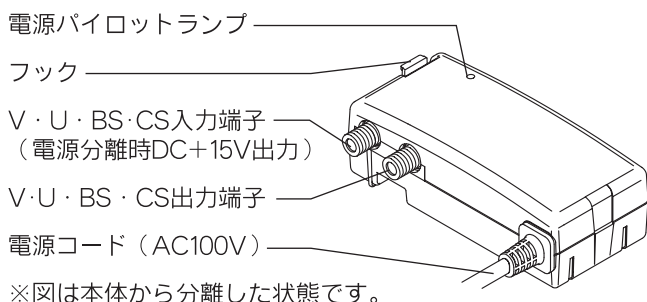
◆各部の名称と電源部の外しかた



電源部の外しかた

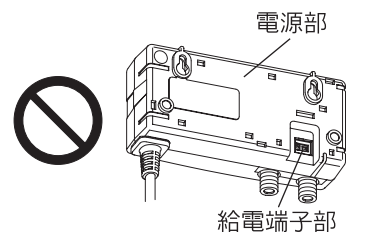
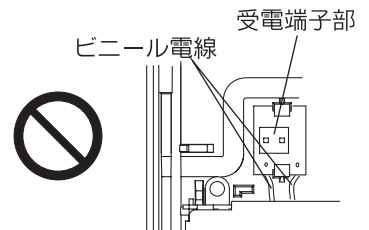
- ① 電源コード取出し口から、電源コードを矢印方向（手前側）に引き抜いて下さい。
- ② 電源部のフックを矢印の方向に押して、ロックを解除してください。
- ③ フックを押した状態で矢印の方向に引き上げ、ある程度引き上げてから電源部を持ち、ケースより引き抜いてください。
※電源部を再度装着する場合は、電源部をケースと平行の状態、フックのロック音がするまで押し込み、電源コード取出し口に電源コードを押し込んでください。

電源部: HPSD60SPA (屋内専用)



警告

- 電源部を分離して使用する場合、本体内部の受電端子部とビニール電線はいじったり、引っ張ったりしないでください。火災・機器の破損の原因となります。
- 電源部背面の給電端子部や穴には金属類や燃えやすいものを入れないでください。火災・感電の原因となります。



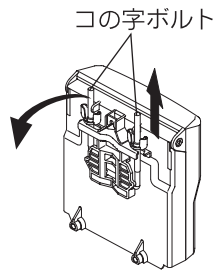
◆取り付け方法

●ブースタ本体の取り付け方法

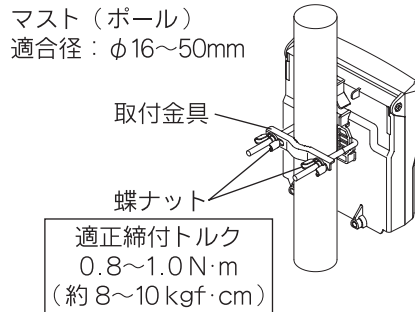
ブースタ本体はマスト（ポール）または壁面に取り付けることができます。

マスト（ポール）取り付け方法

- ①コの字ボルトを手前側に引き出し、ボルトを上方向に持ち上げてから水平に回します。

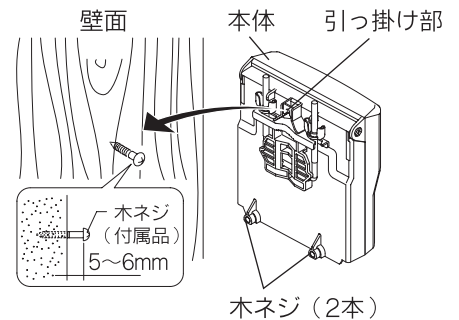


- ②蝶ナットをしっかりと締め、マストに固定します。



壁面取り付け方法

- ①付属の木ネジ（長さ20mm）を壁面に取り付け、本体上部を引っ掛けてください。
- ②本体に備え付けの2本の木ネジでしっかりと固定して下さい。

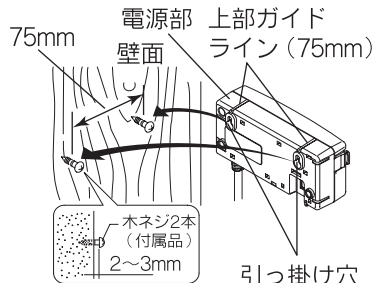


●電源部の取り付け方法

電源部は据え置きのほか、壁面に取り付けることもできます。

壁面取り付け方法

- ①付属の木ネジ（長さ13mm）2本を上部ガイドラインに合わせて壁面に取り付けてください。
- ②ケーブル取付面を下側にし、引っ掛け穴に木ネジを引っ掛けてください。



75mm（実寸）

警告

- ブースタ本体を屋外に設置する場合は、必ずケーブル取り付け面が下側になる様まっすぐに取り付けてください。雨水の浸入により火災・感電の原因になります。



注意

- 機器の質量（重量）に耐えられる場所に設置してください。落下により、ケガ・機器の破損の原因になります。



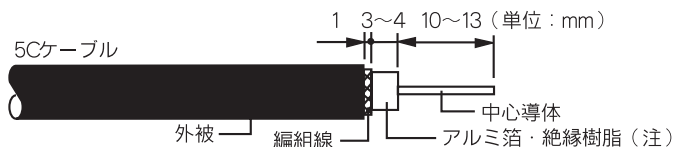
◆同軸ケーブルの端末加工方法

- CS・BSアンテナからブースタ本体への接続及びブースタ本体から電源部→テレビ（分波器）間の同軸ケーブルは、ケーブルのロスによる映像障害を防ぐためCS・BS用低損失同軸ケーブルS5CFBをご使用ください。
- F形接栓の取り付けは、接触不良やショートを防ぐため、ていねいに行ってください。
- 付属のF形接栓（FP-5）は、5Cケーブル用です。

ブースタ本体を屋外に設置する場合、ケーブル防水キャップを同軸ケーブルの太さにあわせて切断し、あらかじめケーブルに通しておいてください。

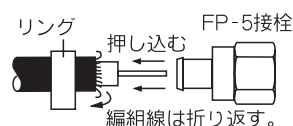


- ①ケーブルを下図のように加工してください。
※中心導体に付着物（絶縁樹脂の皮膜）が残っている場合は、必ずきれいに取り除いてください。

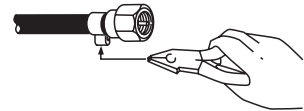


注：同軸ケーブルの種類によってはアルミ箔がなく、絶縁樹脂のみのものもあります。

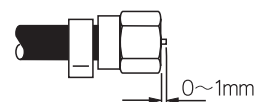
- ②ケーブルにリングを通し、FP-5接栓をアルミ箔と編組線の間押し込んでください。編組線はあらかじめカッターナイフの先端などで折り返しておいてください。



- ③リングをペンチで圧着し、FP-5接栓がケーブルから抜けないようにしてください。



- ④中心導体をニッパーなどで右図の寸法に切断して完成です。

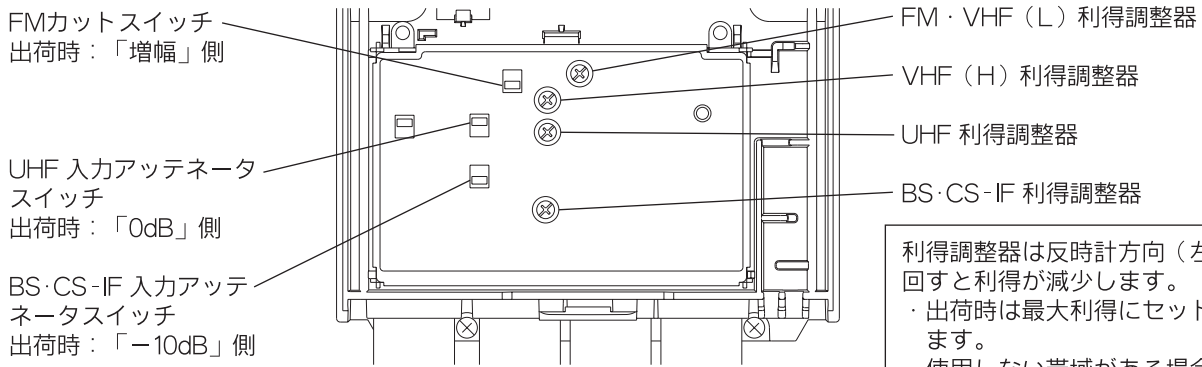


ご注意

中心導体が長すぎると機器の端子が破損します。先端は必ず 0～1mm に切断してください。

※ S5CFB（中心導体径φ1.05mm）より中心導体の太いケーブルを使用する場合は、必ず中心ピン付きのF形接栓（市販品）をご使用ください。機器の端子が破損します。

◆調整機能について



利得調整器は反時計方向（左向き）に回すと利得が減少します。
 ・出荷時は最大利得にセットされています。
 ・使用しない帯域がある場合は、発振防止のため利得調整器を反時計方向（左向き）に回して利得最小位置にしてください。

デジタル放送受信機のレベル表示について

本品を設置してもデジタル放送受信機に表示される「アンテナレベル」や「受信レベル」の数値（指標）が変わらない場合や下がる場合がありますが、本品の不具合ではありません。
 「アンテナレベル」や「受信レベル」は、アンテナの方向調整を目的とした機能で、受信C/N比の換算値を表しており、電波の強さを表すものではありません。

⚠注意

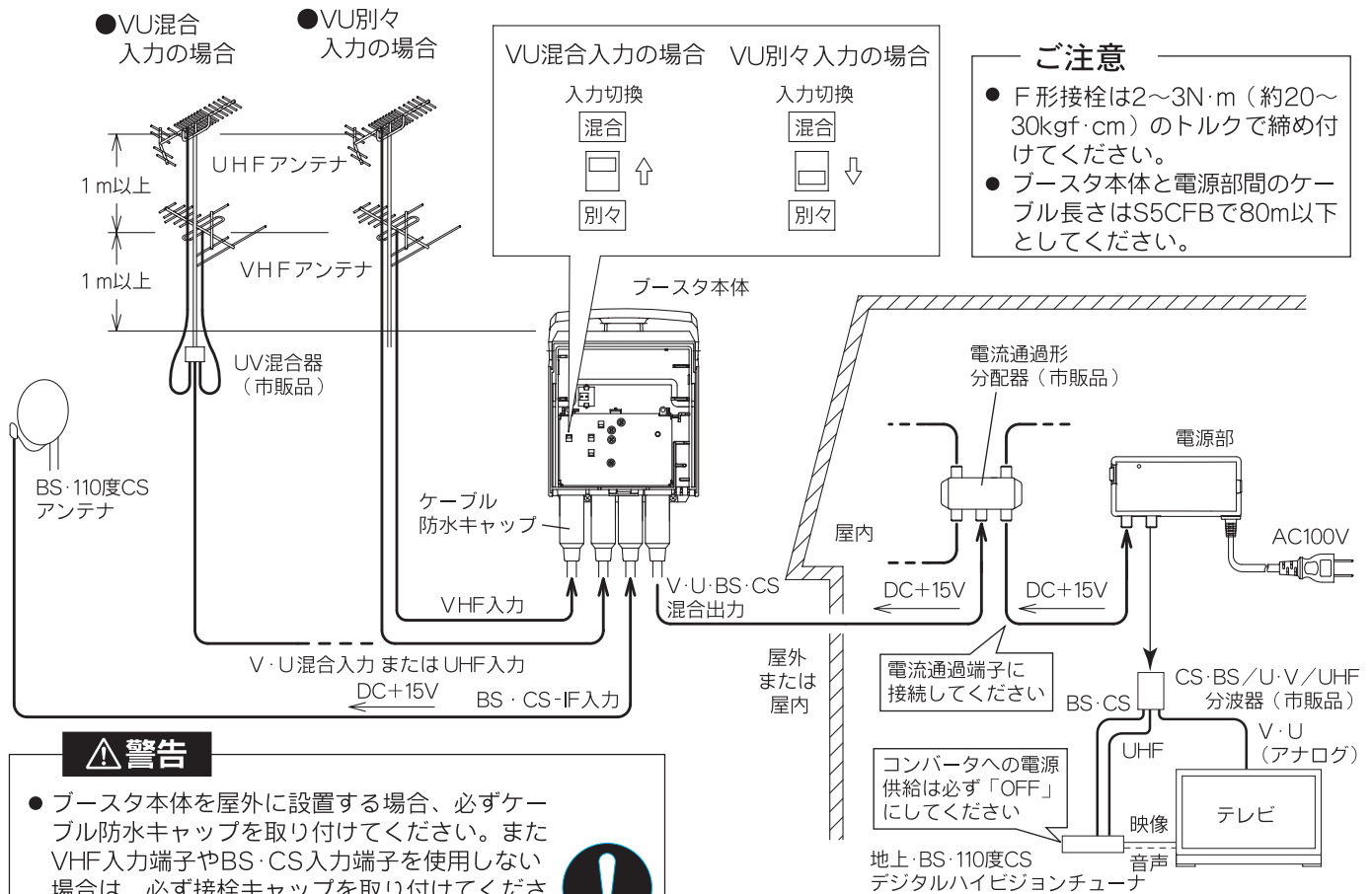
- 利得調整器・スイッチの操作は慎重にお取扱いください。無理な力を加わると機器の故障の原因になります。



●こんな症状の場合は

症状	原因	対策	
テレビ画面に何も映らない	誤接続	各アンテナからの入力ケーブルの接続、およびVU入力切換スイッチの位置を確認してください。	
	配線のショート・断線	AC100V接続時、電源部のランプが点灯しない場合は配線のショートが考えられます。電源部のランプが正常でブースタ本体のランプが消えている場合はケーブルの断線や、電源一本体間にある機器の電流通過端子に接続されていない場合があります。配線・接続を確認してください。	
デジタル放送	画面にブロックノイズがでる	アンテナからの入力レベルが低い	入力アッテネータスイッチを「0dB」側に、利得調整器を最大側（時計方向）いっぱいに戻します。画面に改善がない場合はアンテナの向き・高さを調整してください。
	テレビ画面に何も映らない	テレビへの過入力	入力アッテネータスイッチを「-10dB」側に、利得調整器を最小側（反時計方向）いっぱいに戻します。改善しない場合はアンテナの向き・高さを調整してください。
アナログ放送	画面にスノーノイズがでる（テレビ画面に雪が降ったようザラザラの状態）	アンテナからの入力レベルが低い	入力アッテネータスイッチを「0dB」側に、利得調整器を最大側（時計方向）いっぱいに戻します。画面に改善がない場合はアンテナの向き・高さを調整してください。
	画面にビート縞がでる（テレビ画面に縞模様がでた状態）	F M放送の受信レベルが高い（CH1~3）	F Mカットスイッチを「カット」側にします。
		各アンテナの入力レベルが高い	障害のきているチャンネルの入力アッテネータを「-10dB」側にします。画面に改善がない場合は利得調整器を最小側（反時計方向）に戻して良好な画面（適性入力レベル以下）になるよう調整してください。
画面にワイパー現象（テレビ画面上で帯が移動する状態）やゴーストが出る。	他の電波との混信 建物などによる電波の反射	本器では混信やゴーストによる障害は改善できません。他の電波を避けるようアンテナの向き・高さ・位置を調整してください。	

◆接続例



ご注意

- F形接栓は2~3N・m (約20~30kgf・cm)のトルクで締め付けてください。
- ブースタ本体と電源部間のケーブル長さはS5CFBで80m以下としてください。

警告

- ブースタ本体を屋外に設置する場合、必ずケーブル防水キャップを取り付けてください。またVHF入力端子やBS・CS入力端子を使用しない場合は、必ず接栓キャップを取り付けてください。
- ケーブル防水キャップ・接栓キャップは、根元までしっかりと差し込んでください。雨水などの侵入により、火災・感電の原因となります。

注意

- 電源プラグは配線工事がすべて終了してからACコンセントに接続してください。感電の原因になることがあります。

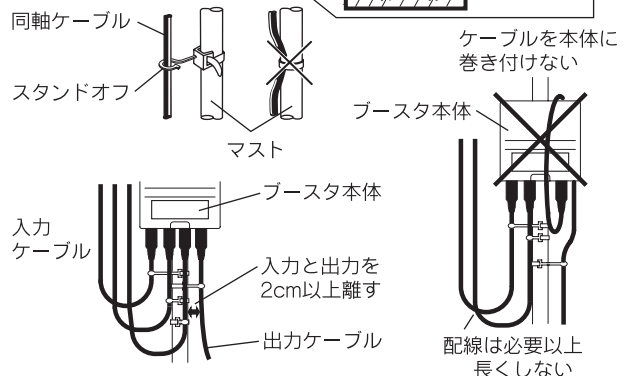
ブースタを正しく取り付けないと、ご自宅やご近所のテレビの映りが悪くなります。
(このような現象を発振障害といいます。)

《発振防止のための正しい取り付け方法》

- ① VHFアンテナ・UHFアンテナ・ブースタはそれぞれ1m以上離して設置してください。
- ② 同軸ケーブルは必ずスタンドオフを使って固定し、金属性マストなどに密着させないでください。
- ③ 同軸ケーブルを束ねたり、ブースタに巻きつけたりしないでください。
- ④ ブースタの入力側と出力側のケーブルを近づけないよう、スタンドオフを使い2cm以上離れるように配線してください。
- ⑤ 同軸ケーブルは極力短く配線し、風などでマストに触れないようにしてください。
- ⑥ VHFまたはUHFアンテナのみを接続する場合は、入力切換スイッチを「別々」側にしてください。



発振障害の画像例



1. 保証期間内でも次のような場合には有料修理となります。
 - (イ) 使用上の誤り、または改造や不当な修理による故障及び損傷。
 - (ロ) お買い上げ後の取付場所の移動、落下、輸送等による故障及び損傷。
 - (ハ) 火災、地震、風水害、落雷、その他天災地変、塩害、公害、ガス害(硫化ガスなど)や異常電圧、指定外の使用電源(電圧、周波数)による故障及び損傷。
 - (ニ) 車両、船舶に搭載して使用された場合に生じた故障または損傷。
 - (ホ) 一般家庭用以外(例えば業務用等への長時間使用等)に使用された場合の故障及び損傷。
 - (ヘ) 本書のご提示がない場合。
 - (ト) 本書にお買い上げ年月日、お客様名、販売店名の記入のない場合あるいは字句を書き換えられた場合。

- (チ) 故障の原因が本機以外にある場合で改善を要するとき。
- (リ) 消耗部品が自然消耗、摩耗、劣化した場合の交換。
2. 離島または離島に準ずる遠隔地への出張修理を行なった場合には、出張に要する実費を申し受けます。
3. ご転居の場合は事前にお買い上げの販売店にご相談ください。
4. 贈答品等で本書に記入してあるお買い上げの販売店に修理がご依頼にならない場合には、取扱説明書のお客様ご相談窓口をご覧の上、ご相談ください。
5. 本書は再発行いたしませんので紛失しないよう大切に保存してください。
6. 修理に伴う商品の移送に要する送料等は、お客様の負担となります。
7. 本書は日本国内においてのみ有効です。Effective only in Japan.

- この保証書は本書に明示した期間、条件のもとにおいて無料修理をお約束するものです。この保証書によって保証書を発行している者(保証責任者)及びそれ以外の事業者に対するお客様の法律上の権利を制限するものではありません。保証期間経過後の修理等についてご不明の場合は、お買い上げの販売店またはご相談窓口にお問い合わせください。

- 保証期間経過後の修理によって使用できる製品は、お客様のご要望により有料修理させていただきます。
- この家庭用ブースタの補修用性能部品の最低保有期間は製造打ち切り後7年です。
- 補修用性能部品とはその製品の機能を維持するために必要な部品です。

◆標準仕様

●ブースタ本体

項目	FM・VHF(L) CH1~3	VHF(H) CH4~12	UHF CH13~62	BS・CS-IF
周波数帯域 (MHz)	76~108	170~222	470~770	1000~2610
利得 (dB)	20~26	25~33	30~38	25~35
定格出力レベル (dBμ)	105 (2波)	105 (5波)	111 ※1 103 ※2	103 (24波) 100 (36波)
利得調整範囲 (dB)	0~-15	0~-15	0~-10	0~-10
入力アッテネータ (dB)	-	-	0,-10	0,-10
適正入力レベル (dBμ)	39.5~82	39.5~75	39~76 ※1 39~68 ※2	41~73
帯域内利得	全帯域	3以下	4以下	5以下
偏差 (dB)	任意の34.5MHz	2以下		
雑音指数 (dB)	3.5以下	3.5以下	470~710MHz: 3以下 710~770MHz: 3.5以下	1000~2150MHz: 6以下 2150~2610MHz: 8以下
入出力インピーダンス (Ω)	75 (F形)			
V S W R	3以下	3以下	3以下	2.5以下
直流供給電源 (V)	DC+15 (容量4W)			
電源	DC+15V 0.19A (4W送電時0.46A)			
使用温度範囲 (°C)	-20~+40			
寸法 (mm)	145 (高さ) × 133 (幅) × 58 (奥行)			
質量 (g)	760 (電源部内蔵時)			

●電源部 (HPSD60SPA)

項目	仕様
周波数帯域 (MHz)	10~2610
電源 (V)	AC100 (50/60Hz)
消費電力 (W)	10
出力電圧・電流	DC+15V 最大0.6A
入出力インピーダンス (Ω)	75 (F形)
挿入損失 (dB)	VHF: UHF: 2以下 BS・CS-IF: 3以下
使用温度範囲 (°C)	-20~+40
外觀寸法 (mm)	37 (高さ) × 117 (幅) × 63 (奥行)
質量 (g)	250

※1 アナログ2波
※2 アナログ7波+デジタル9波 (-10dB)

保証とアフターサービス

- 保証書は、必ず「お買い上げ日・販売店名」などの記入をお確かめの上、販売店から受け取っていただき内容をよくお読みの後大切に保管してください。
- 保証期間は、お買い上げ日から1年です。
- 修理に関するご相談ならびにご不明な点は、お買い上げの販売店または「ご相談窓口」にお問い合わせください。

ご相談窓口 (家庭電器製品の表示に関する公正競争規約により表示)

日立家電品についてのご相談や修理はお買い上げの販売店へ

なお、転居されたり、贈物でいただいたものの修理などで、ご不明な点は下記窓口にご相談ください。

修理などアフターサービスに関するご相談は エコーセンターへ

TEL 0120-3121-68
FAX 0120-3121-87

(受付時間)
9:00~19:00 (365日)

商品情報やお取り扱いについてのご相談は お客様相談センターへ

TEL 0120-8802-28
FAX 03-3260-9739

(受付時間) 9:00~17:30 / 携帯電話、PHSからもご利用できます。
土曜、日曜、祝日と年末年始・夏季休暇など弊社の休日は休ませていただきます。

- 「出張修理」および「部品購入」については、上記サービス窓口にて各地区のサービスセンターをご紹介します。
- お客様が弊社にお電話いただいた場合には、正確にご回答するために、通話内容を記録 (録音など) させていただくことがあります。
- ご相談、ご依頼いただいた内容によっては弊社のグループ会社に個人情報を提供し対応させていただくことがあります。
- 修理をご依頼いただいたお客様へ、アフターサービスに関するアンケートハガキを送付させていただくことがあります。

株式会社 日立リビングサプライ

〒162-0814 東京都新宿区新小川町6-29 (アクロポリス東京)

TEL. 03-3260-9611

FAX. 03-3260-9739

3GBZ310A0-08.11

家庭用ブースタ保証書 出張修理

保証期間内に取扱説明書、本体ラベル等の注意書きにしたがって正常な使用状態で使用して故障した場合には、本書記載内容にもとづきお買い上げの販売店が無料修理いたします。

お買い上げの日から下記の期間内に故障した場合は、商品と本書をお持ちいただき、お買い上げの販売店に修理をご依頼ください。お客様にご記入いただいた保証書の控えは、保証期間内のサービス活動およびその後の安全点検活動のために記載内容を利用させていただく場合がございますので、ご了承ください。(裏面もご覧ください。)

形名	HDB-SW35		※お買い上げ日	保証期間
			平成 年 月 日	本体: 1年
※お客様	ご住所	〒 -		様
	ご芳名			
※販売店	住所	〒 -		
	店名		TEL	

株式会社 日立リビングサプライ

〒162-0814 東京都新宿区新小川町6-29 (アクロポリス東京)

TEL. 03-3260-9611

FAX. 03-3260-9739

Hitachi Living Systemsは日立リビングサプライの英文社名です。


※印欄に記入のない場合は無効となりますから必ずご確認ください。


Hitachi Living Systems

家庭用ブースタ 安全上のご注意


- ご使用前に、この「安全上のご注意」と「取扱説明書」をよくお読みのうえ、正しくお使いください。
- お読みになった後は、いつでも見られるところに保存してください。


- ここに示した注意事項は、製品を安全に正しくお使いいただき、お客様（自分自身）や他の人々への危害や財産の損害を未然に防止するためのものです。また、危害や損害の大きさと切迫の程度を明示するために、誤った取り扱いをすると生じることが想定される内容を「警告」、「注意」の2つに区分しています。いずれも安全に関する重要な内容ですので、必ず守ってください。
- お守りいただく内容の種類を絵表示で区分し、説明しています。


 **警告** この表示を無視して、誤った取り扱いをすると、人が死亡または重傷を負う可能性が想定される内容を示しています。

 **注意** この表示を無視して、誤った取り扱いをすると、人が傷害を負う可能性が想定される内容および物的損害のみの発生が想定される内容を示しています。


絵表示の例

 △記号は注意（危険・警告を含む）を促す内容があることを告げるものです。図の中に具体的な注意内容（左図の場合は警告または注意）が描かれています。

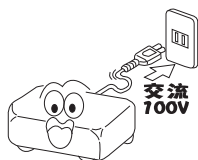
 ⊘記号は禁止の行為であることを告げるものです。図の中や近くに具体的な禁止内容（左図の場合は分解禁止）が描かれています。


 ●記号は行為を強制したり指示する内容を告げるものです。図の中に具体的な指示内容（左図の場合は電源プラグをコンセントから抜いてください）が描かれています。

警告

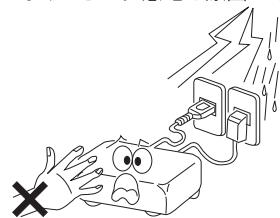
 ●この製品は日本国内専用です。表示された電源電圧以外は使用しないでください。火災、感電の原因となります。


禁止



 ●雷が鳴りだしたら機器・電源コード・接続ケーブルに触れないでください。感電の原因となります。


接触禁止

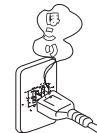



 ●煙が出る、変なにおいや音がする時は、すぐに電源プラグをコンセントから抜いて販売店にご連絡ください。そのまま使用すると火災・感電の原因となります。また、お客様による修理は危険ですので絶対におやめください。

電源プラグを抜く

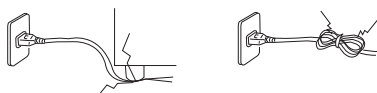



 ●電源プラグは、刃や刃の取り付け面にゴミやほこりがつかない様、コンセントにしっかり差し込んでください。また、ゴミやほこりが付着している場合は、きれいにふき取ってください。火災の原因となります。ゴミやホコリをふき取る場合は電源プラグを抜いてからふき取ってください。



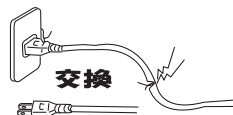
 ●電源コードは傷つけたり、加工したり、無理に曲げたり、ねじったり、引っぱったり、束ねたまま使用したりしないでください。また、加熱（熱器具に近づく）したり、重いものをのせたり、はさんだりしないでください。電源コードが破損して、火災・感電の原因となります。

禁止







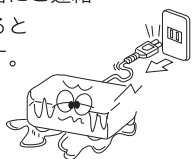



 ●電源コードや電源プラグが傷んだら（芯線の露出、断線など）すぐに電源プラグをコンセントから抜いて販売店にご連絡ください。そのまま使用すると火災・感電の原因となります。

電源プラグを抜く



警告

 <p>電源プラグを抜く</p> <ul style="list-style-type: none"> ●機器を落とししたり、破損した場合は、すぐに電源プラグをコンセントから抜いて販売店にご連絡ください。そのまま使用すると火災・感電の原因となります。 	 <p>禁止</p> <ul style="list-style-type: none"> ●屋内用機器は屋外に設置したり、浴室や流しの近くなど水のかかる場所に設置しないでください。機器内部に水が入ると火災・感電の原因となります。 
 <p>禁止</p> <ul style="list-style-type: none"> ●機器の上には水の入った容器や物は置かないでください。機器内部に水が入ると火災・感電の原因となります。また、ペットなどの動物が機器の上に乗らないように注意してください。排泄物や体毛が中に入った場合、火災・感電の原因となります。 	 <p>禁止</p> <ul style="list-style-type: none"> ●機器の内部に金属類や燃えやすいものなど異物を入れないでください。火災・感電の原因となります。特にお子様のいるご家庭では注意してください。 
 <p>電源プラグを抜く</p> <ul style="list-style-type: none"> ●内部に水や異物が入ったら、すぐに電源プラグをコンセントから抜いて販売店にご連絡ください。そのまま使用すると火災や感電の原因となります。お客様による内部の点検はおやめください。 	 <p>分解禁止</p> <ul style="list-style-type: none"> ●機器の分解・改造はしないでください。火災・感電の原因となります。内部の点検、調整、修理は販売店に依頼してください。 

注意

 <p>電源プラグを抜く</p> <ul style="list-style-type: none"> ●設置する時、移動する時、お手入れする時は電源プラグをコンセントから抜いてください。火災・感電の原因となることがあります。 	 <p>禁止</p> <ul style="list-style-type: none"> ●傾いた場所や不安定な場所に置かないでください。落下してけがの原因となります。機器の重さに耐えられる場所に設置してください。 
 <p>禁止</p> <ul style="list-style-type: none"> ●同軸ケーブルにはテレビ電波以外に電流が流れている場合があります。同軸ケーブルを無理に曲げたり傷つけたりしないでください。火災・感電の原因となることがあります。 	 <p>禁止</p> <ul style="list-style-type: none"> ●湿気や油煙の多い場所（加湿器・調理台のそばなど）やほこりの多い場所に設置しないでください。火災・感電の原因となることがあります。 
 <p>禁止</p> <ul style="list-style-type: none"> ●電源プラグを抜くときは、電源コードを引っ張って抜かないでください。電源コードが傷つき火災・感電の原因となることがあります。必ず電源プラグを持って抜いてください。 	 <p>ぬれ手禁止</p> <ul style="list-style-type: none"> ●濡れた手で電源プラグを抜き差ししないでください。感電の原因となることがあります。 
 <p>禁止</p> <ul style="list-style-type: none"> ●直射日光の当たる所や、熱器具のそばなど温度の高い所には設置しないでください。火災・感電の原因となることがあります。 	 <p>電源プラグを抜く</p> <ul style="list-style-type: none"> ●長期間ご使用にならないときは、安全のため電源プラグをコンセントから抜いてください。火災の原因となります。 
 <p>禁止</p> <ul style="list-style-type: none"> ●機器の通風孔をふさがないでください。また、以下の様に設置しないでください。機器内部に熱がこもり火災の原因となることがあります。 <ul style="list-style-type: none"> ・押し入れや本箱など風通しの悪い場所に押し込まないでください。 ・テーブルクロス・カーテンなどを掛けたりしないでください。 ・新聞紙や雑誌などを上に置かないでください。 ・じゅうたんや布団の上に置かないでください。 ・あお向け・横倒し・逆さまにしないでください。 	